

信仰告白 田園グレース教会・小杉チャペル

1. 神について

神は世界の創造主であり支配者である。神は永遠に存在し、3つの神格を持つ。すなわち御父と御子と聖霊である。これらの3つの神格は同格であり、また唯一神である。

創世記1:1, 1:26-27, 3:22 詩篇90:2 マタイ28:19 第1ペテロ1:2 第2コリント13:14

2. イエス・キリストについて

イエス・キリストは神の御子である。彼は御父と同格である。主イエスは救い主としてこの世へ来られ、完全な人間として全く罪のない生活を送り、十字架の上で死ぬことによって、全ての人間の罪の完全な贖いの代価として、神へのいけにえとなり、彼ご自身の命を捧げた。主イエスは、罪と死に対してご自身の力を現すために、十字架の死から3日目によみがえった。その後栄光のうちに天に上げられたが、もう一度、王の王、主の主として地上に戻って来られる。

マタイ1:22-23 イザヤ9:6 ヨハネ1:1-5, 14:10-30 ヘブル人への手紙4:14-15 第1コリント15:3-4 ローマ1:3-4 使徒1:9-11 第1テモテ6:14-15 テトス2:13

3. 聖霊について

聖霊は御父、御子と同格の神である。聖霊は、人間には救い主イエス・キリストが必要であると気づかせるために、この世に臨在する。聖霊はまた、救いの瞬間から、全てのキリスト者の中に住み、教え、導いてくださる。聖霊は人間に、生きるため、聖書の真理を理解するため、また正しい行ないへ導くために、クリスチャンに知恵と力を与える。クリスチャンは、日々聖霊の支配の下で生きることを求める。

第2コリント3:17 ヨハネ16:7-13, 14:16-17 使徒1:8 第1コリント2:12, 3:16 エペソ1:13 ガラテヤ5:25 エペソ5:1

4. 人について

人は神の霊的なイメージの中で創造され、神に似せて造られた。人は神の創造物の中で最高の存在である。人は善を行なう可能性を持っているが、罪により全存在が損なわれた。アダムが罪を犯したことにより、アダムにおいて全人類は罪人となった。人は、永遠のさばきによって公正に裁かれ、罪からの救いに対してはまったく無力であり、自分の知恵、努力では何もできない。

創世記1:27, 9:6 詩篇8:3-6 イザヤ53:6a ローマ2:2-3, 2:5, 3:23, 5:12 イザヤ59:1-2 エペソ2:1, 2:8-9

5. 救いについて

救いは、神から人への贈り物である。人は、自分自身の努力や良い行ないによって、罪を償うことはできない。赦しの神の備えてくださった救い主、イエス・キリストを信じることによってのみ、罪とその罰から救われる。永遠のいのちは、信仰により、イエス・キリストを救い主として信じ、受け入れたその瞬間から始まる。

ローマ6:23 エペソ2:8-9 ヨハネ14:6, 1:12 テトス3:5 ガラテヤ3:26 ローマ5:1

6. 聖書について

聖書は、全ての人への神のみことばである。聖霊の超自然的な導きの中で、人間の著者によって書かれた。それは、キリストへの信仰と、生きるための真理の最高の源である。なぜなら、聖書は神の靈感によって書かれ、そこにはどんな混合物も間違いもなく、永遠にして唯一の真理であるから。

第2テモテ3:16 第2ペテロ1:20-21 第2テモテ1:13 詩篇119:105, 119:160, 12:6 箴言30:5

7. 永遠について

人は、永遠に存在するためにつくられた。人は、罪により神と永遠に離れるか、または主イエス・キリストの十字架による贖いを信じる信仰によって与えられる、赦しと救いを通して神と和解する。地獄は神と永遠に離れる場所である。信仰により永遠の命を与えられた者に備えられる天の御国は、完全に神と和合し、罪から完全に解放され、永遠に神と共に生きる場所である。天国と地獄は永遠の存在の場所である。

ヨハネ3:16 ヨハネ2:25 ヨハネ5:11-13 ローマ6:23 黙示録20:15 第1ヨハネ5:11-12 マタイ25:31-46

8. 永遠の確信について

神はイエス・キリストを通して人に永遠の生命を与えたので、信じる者に与えられる救いは永遠に保証されている。救いは、神の恵みと力によってもたらされ、人間自身の努力によって得られるものではない。この保証を与えるのは、神の恵みと永遠の力である。

ヨハネ10:29 第2テモテ1:12 ヘブル7:25、10:10、10:14 第1ペテロ1:3-5

9. 教会について

教会は、全てのクリスチャンによって構成される。教会は、聖霊のバプテスマによって形造られたキリストの体であり花嫁である。教会は全世界的な「公同の教会」、また「地域教会」としての2つの局面を持つ。公同の教会は、聖霊のバプテスマにより、キリストのからだにつらなる者とされたクリスチャンの群れ、集まりである。教会の使命は、その頭であるイエス・キリストの証とその福音を、全ての国々へ伝えることである。主イエスがその王国を再建する為に、また地上に来られる時、教会は主と会う為に引き上げられる。地域教会は、クリスチャンが共に集まり、主に礼拝をささげて生きる、実際のある場である。地域教会の使命は、主の家族として集められたクリスチャンが、主の愛により固く結ばれ、賛美と感謝をもって主を礼拝し、互いに教え、励まし、祈り合いながらキリストの弟子として成長し、聖霊の賜物をもって主と教会に仕え、互いの愛によって世にキリストを証することである。その様な地域教会の歩みによって、キリストの御名に栄光を帰することができる。

エペソ1:22-23、5:24-30 第1コリント12:4-13、12:27

10. 天使について

天使は主に仕える御使いとして神聖に造られた。しかし一人の天使が主に逆らって立ち、墮落し、サタンとなった。主に仕える天使と共に、サタンと、サタンについて共に墮落した元天使がいる。

コロサイ1:16 ヨブ38:6-7 詩篇148:2-5 ユダ6 マタイ25:41 エペソ6:11-12 第1テモテ5:21 黙示録12:9

11. 礼典について

聖書は、「主の晩餐(聖餐式)」と「水のバプテスマ」の2つを礼典として行なうよう教えている。聖餐はキリストの死を記念し、再臨を期待し、定期的に執り行われる。水のバプテスマは、個人の、キリストを信じる信仰によってのみ執り行われ、キリストに対する服従、またその信仰を世に証しするものである。なお、浸礼(全身を水に浸す)によるバプテスマは、聖書にみられる模範である。

マタイ28:19-20 マルコ16:15-16 使徒8:12、8:36-38、9:18、10:47 第1コリント11:23-26